

NEWS RELEASEミニストップ株式会社
(証券コード 9946)**イオン社会福祉基金「施設給付金」贈呈式のお知らせ**

イオン社会福祉基金は、2001年度の事業計画に基づき、古川市知的障害者通所援護施設「ふれあい広場」へ100万円の施設給付し同施設ではこの給付金で作業運搬車を購入する予定です。この度ミニストップ株式会社(本部：千葉県千葉市、社長横尾 博)がイオン社会福祉基金を代表し、下記の通り贈呈式を実施いたしましたのでお知らせいたします。

記

日	時	2002年3月1日(金曜日) 午後1時30分～(30分程度)
場	所	古川市知的障害者通所援護施設「ふれあい広場」 宮城県古川市北町5-1-5

以上

「イオン社会福祉基金」の概要

イオン社会福祉基金は全国の福祉施設で養護されている心身障害者の福祉の向上に寄与することを目的として労使で1977年9月に設立され、現在39社の参加を得て労使双方が従業員一人当たりそれぞれ毎月50円ずつ(労使双方で100円)を積み立てて運営しております。

その活動は「施設給付」「ボランティア給付」「特別給付」の3本の柱からなっています。

「施設給付」は心身障害者の方々の施設に1施設100万円の給付を贈呈させていただいており、2000年度までに297の施設に給付させていただきました。贈呈させていただいた給付金は各施設で最も必要なものの購入や設備の充実の費用の一部として活用されています。

「ボランティア給付」としては、給付施設とのパイプを絶やさずに手作りの活動を各地で実施しております。

また、「特別給付」としては、障害者参加型イベントへの給付を実施しております。(97年度は長野パラリンピック、98年度はゆうあいピック茨城大会、99年度と2000年度ははまなす全国車いすマラソン大会)2001年度は全国障害者スポーツ大会みやぎ大会に寄贈させていただきました。

今回の給付は2001年度に実施されます施設給付(20施設に給付)のひとつとなります。

この件についてのご質問は
ミニストップ(株)社長室 広報 森出
043-212-6477
まで宜しくお願いいたします。

【参考資料】

古川市知的障害者通所援護施設「ふれあい広場」は義務教育を修了した知的障害者が、自宅から通って生活能力を向上させ働く喜びを感じてもらうことによって自立を促すことを目的にし、現在、養護学校高等部の卒業生ら5人が、施設西側の畑で白菜などの野菜作りや牛乳の紙パックを利用したはがき作り、午後は張り絵やビデオ鑑賞などをして過ごしています。購入される作業運搬車(軽自動車)は同施設の農作業や作業部品の搬入に活用されます。

3月1日贈呈式出席者名簿

日本 へ レ ン ケ ラ ー 財 団	古川市社会福祉事務所 所長	あいざわ ひろ む 相 沢 広 務
	古川市社会福祉協議会 会長	さとう り さく 佐 藤 利 作
	古川市社会福祉協議会 副会長	そ ね えいいち 曾 根 英 一
	古川市社会福祉協議会 副会長	ち ば ま さ と 千 葉 正 人
	古川市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	すがまた あきのぶ 菅 股 彰 信
	古川市社会福祉協議会 事務局次長	たけ だ よしのぶ 武 田 良 信
	古川市社会福祉協議会 総務課長	おお ば しゅんいち 大 場 俊 一
	古川市社会福祉協議会 業務課長	さ とう あや 佐 藤 綾

ミ ニ ス ト ッ プ 関 係 者	代 表 取 締 役 社 長	よこ お ひろし 横 尾 博
	ミニストップユニオン委員長	い い く ぼ あきら 飯 久 保 明
	人 事 総 務 本 部 長	こにし もりひこ 小 西 守 彦
	北 関 東 ・ 東 北 営 業 部 長	みたに かずなり 三 谷 和 也
	東 北 開 発 部	やなぎはし おさむ 柳 橋 整
	社 長 室 広 報 マ ネ ー シ ャ ー	もりいで よし たか 森 出 芳 孝